

# 情報評価論

## *Evaluative Informetrics*

3学期		月曜日	7・8時限	講義室：7A204	
担当教員	芳鐘冬樹	研究室	414	オフィス	月曜 5限
科目の概要	<p>論文の発表数や引用数のような計量情報学的データに基づいて、論文生産性など、学術情報の生産活動の現状を評価する際に問題となるのが、低頻度の事象が大部分を占めるというデータの特質である。例えば、ある分野の論文集合をデータとした場合、その分野の論文を数編しか発表していない周辺の研究者が全体の大部分であり、その分野の論文を数編しか掲載していない周辺の雑誌が大部分である。それら低頻度の事象の存在が問題となる所以は、対象の特徴を指標で測るとき、指標の値が標本量に依存して系統的に変化してしまい、信頼できる母集団推定が不可能になるという点にある。そうしたデータの特質と、それを踏まえた統計分析の枠組みについて学習する。</p>				
授業予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下記の参考書に沿って講義する。(適宜レジュメを配付するので、参考書は、必ずしも購入しなくてよい。</li> <li>2. 上記概要に関係する論文(和文、英文)を講読する。</li> <li>3. 実際のデータを示しつつ、生産性やインパクトなどを分析・評価する際、データの特質がどのように結果に影響を及ぼしうるかに関して議論する。</li> </ol>				
達成目標	<p>論文の発表数や引用数のような計量情報学的データの特質と、それを踏まえた統計分析の枠組みについて理解することを目標とする。</p>				
評価の方法	レポート(1, 2回)と英文講読による。				
教科書または参考書	参考書：影浦峽. 計量情報学：図書館/言語研究への応用. 丸善, 2000				
テレビ会議システムの利用	無				
その他					